

11/16 (日) 地域みんなの文化祭

15日(土)～片岡公民館において「片岡コミュニティ文化祭」が行われました。この祭りは、片岡地区の文化芸術・絆の醸成などを目的に開催されており、今年で35回目になります。ホールでは、歌や舞踊が披露され、2階の展示コーナーには、日ごろの講座で作った作品が並び、訪れた方を楽しませていました。外では、つきたてのお餅配布や子ども会のビンゴゲーム、片岡中学校の生徒による鉢植配布などが行われ、会場には一日中笑顔があふれていました。



11/17 (月) 川をきれいにしましょう

栃木県河川愛護ポスターコンクールにおいて、会長賞を受賞した藤木七南さん(片岡中2年)が市長を表敬訪問しました。このコンクールは、河川愛護意識の普及・啓発活動の一環として県道路河川愛護連合会が毎年開催しており、県内の小・中・高等学校生から1,151点の応募がありました。

藤木さんの作品では、カワセミなどきれいな水辺に生息する生物を通して、川の大切さを表しているとのことでした。



11/27 (木) 元プロ選手によるサッカースクール

矢板運動公園において、とちぎテレビ主催の「第2回キッズチャレンジサッカースクール2014」が開催されました。指導してくれたのは、元日本代表選手の森島寛晃さんと元Jリーガーの佐藤悠介さん。この日は、県内から約100人の参加者が集まり、お手本で見せてくれた巧みなボールさばきに歓声を上げていました。終了後は、2人とも気軽に記念撮影やサインに応じるなど子どもたちと交流し、サッカーの楽しさや将来の夢の話に花を咲かせていました。



11/29 (土) シルバー作品展

きずな館でシルバー人材センター会員による作品展が初めて開催されました。この作品展は、日ごろの仕事や奉仕活動の写真や会員の同好会が制作した作品を展示することで、センターへの理解や会員の拡大、生きがいを創出することを目的として開催されています。当日は、お楽しみ抽選会、体験教室などが行われるなど、多くの方が会場を訪れ賑わいを見せていました。事務局では、「来年も開催し、多くの方にシルバー人材センターへの理解を深めてもらいたい」と話していました。



11/30 (日) 語りべの会10周年

矢板公民館大会議室において、やいた語りべの会による「10周年記念民話語り発表会」が開催されました。会は、民話の語りを通して、子ども達の想像力の育成や郷土愛の醸成などを目的に活動しているボランティア団体で今年で結成10年目を迎えました。日ごろから市内の学校や福祉施設などで民話語りを行っています。この日は、「信生法師の心情」の語り継ぎや市内に伝わる民話などが披露され、会場の皆さんは、熱心に聴き入っていました。



12/2 (火) 手洗い教室開催

11～12月にかけて国際医療福祉大学塩谷病院の看護師さんが中心となり、児童や生徒に手洗いやうがいの仕方を教える教室を開催しました。この取り組みは、塩谷病院の地域貢献活動の一環で、インフルエンザの流行期を前に予防への習慣を身に付けてもらうことが目的です。この日は、東小学校の一年生、約70人に指導を行いました。参加した児童は「これからは、指先まで洗いたい」「家族にも教えてあげたい」と話していました。



12/7 (日) 塩谷地区をたすきでつなぐ

塩谷町役場から高根沢町町民広場までの42.195kmを9区間に分けタスキでつなぐ、「第57回塩谷地区駅伝競走大会」が開催されました。塩谷地区の市町から各2チームが出場し、選手の皆さんはそれぞれの地区の誇りをかけ力走。矢板市は、さくら市に次ぐ総合準優勝を果たしました。1月25日(日)には、第56回栃木県郡市対抗駅伝競走大会が開催されます。テレビ放送も予定されていますので、皆さん応援よろしくお願いします。



12/11 (木) シニアクラブ表彰

全国老人クラブ連合会活動賞を受賞した「片岡長生会」の皆さんと、老人クラブ活動功労者県知事表彰を受賞した長谷川健さん(矢板シニアクラブ連合会会長)が市長を表敬訪問しました。いずれも多岐に渡る日々の献身的な活動が評価されたものです。片岡長生会の大類さんは「芸達者な仲間が多い」と、長谷川さんも「日々の皆さんの活動のおかげ」と受賞した感想を話してくれました。

